出張めぐり

No 1

熊本県産業館

販路拡張への橋

熊本市の目ぬき、花畑町の電車通りに、ガラス張りの明るい建物がスマートな姿を見せています。これが県の産業館です。

さア中へ入つて見ましよう。一階の陳列場には県産の主な商品がいつぱい並んでいます。こゝには昨年四月両陛下が熊本市での第一歩をふみ入れられ、山鹿灯ろうや肥後ぞうがんの製作ぶりもごらんになりました。

一階にはその他に事務局があり、二、三階には各種産業団体の事務局や会議室などが配置されています。さて、産業館の仕事というのはどんなことでしようか。

★――新市街にスマートな姿ほこる熊本県産業館――★

県の内外から遠く欧米にまで、広く県産品の販路を拡張するため、皆さんの商品販売に関する相談や市場の調査、先方の信用調査から取引の援助やあつ旋、館内の展示即売はもちろん各種共進会博覧会の展示や開催など、いろ〳〵なサービスをするのが産業館です。

昭和二十二年に発足して十二年後の今日では機構も整い、東京大阪の物産館、小倉の物産あつ旋所をはじめ、関係課や団体、生産販売業界ときん密に連らくして、日夜活動をつゞけています。

取引のあつ旋

取引のあつ旋については、宣伝販売競争の烈しい今日最も効果的な

市場調査→商品計画→販売促進という一連の方法を進めています。

市場調査(情報活動)では、問屋や商社の信用情況をたしかめたり、市場での県産品の評判や要望を聞いたり、競争品の売込み法や市況相場の通知などを県内の業界へ連絡します。同時に県内業者と先方との意志のそ、通を計ることも大切です

商品計画ではいろ〳〵の販売相談や指導に応じたり、業界との打合会を開いて需要地向きの生産販売を督励したりします。

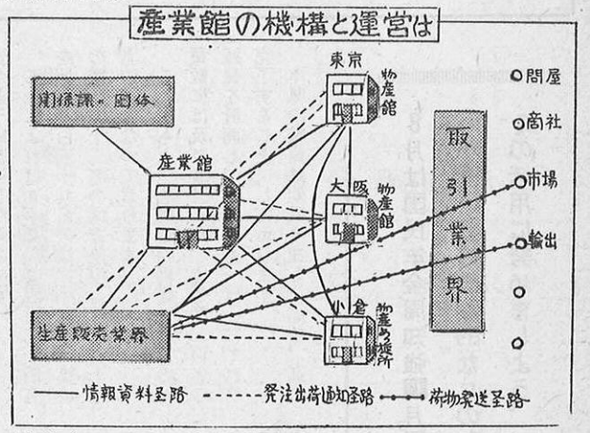
次に販売促進では商品計画に基いて見本の取引、訪問販売、取引懇談会などあらゆる方法で県産品の売込みに努めます

以上を一つの実例で申上げましよう。

きび原草の産地は茨城、長野、熊本の三地区で、それが大阪市場で競争しています。そこで大阪物産館を通じて県産品の批判や相手方の選別荷姿、販売法、市況相場などを調査しますと、「熊本のものは曲りが多く不揃いのため値は相場もより二〇円安の五五〇円位」という連絡が来ました。産業館では早速県内の業者と打合せた結果、選別は一等、二等、等外の三階級、曲りの混入は二割までとし、その上2尺の乾燥ものに統一して、着値は一等五六〇円の外、夫々二〇円落ちで二万貫の取引を頼むと連絡しました大阪でも取急ぎ見本をもつて取引交渉に当り、遂に県産品の銘柄信用を確保したのです。

一方品質の曲りについては主管課でその生産改善の指導に当つてもらうこともちろんで、逐次上質品の生産に進んでいます。

しかしこうしたことは県産品の全部に及ぼす訳にいきませんので、今年は特に量産のできるもの、特産品でのびの大きいものなどに重点的な品目をきめています。



貿易の振興と宣伝

三十三年度の輸出額は約三〇億円に上りましたが、その中輸出を援助した中小企業者製品は約五億円で、その主なものは木材、みかん、罐詰など品種が少いのです。そこで品目と取引額をふやすため貿易実務の代行や市場調査による情報あつめ、輸出可能品の生産指導をはじめ、三角港の整備、見本市など、出来ることからやつています。

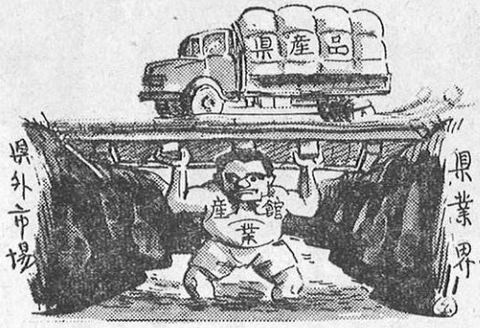
宣伝や紹介は取引の世話や貿易の振興と切りはなせぬもので、宣伝戦に負ければすぐ販路にひゞきます。そこで展示効果を大きくするためには特に品目とその陳列配列に力を入れて各種展覧会に出品しています。又即売場でも毎月生産期と需要期を考えて、製品の展示即売会を大々的に行つています。

その他意匠や包装を改善して商品価値を高め、装飾に伴う陳列配列の指導や、遠く東京、大阪、小倉方面への観光宣伝求職に対する求人開拓など多方面な仕事で総合効果をあげるように努めています

取引あつ旋の実績

産業館で扱つた昭和二十四年以来の取引あつ旋高を品目内容からみますと次のように二十八年を境として、それ以前は東京大阪小倉とも菓子、工芸品、竹製品たたみ表、塩干物、薬工品、ほうきなど生活必需品が多かつたのですが、二十九年からは県の量産、特産品すなわち木材、竹材、木炭、そさい、青物、たゝみ表、白玉粉、麺類、豚、牛、貝類など農林水産物が圧倒的です。

三十三年度だけを見ますと次表のとおり



33年度の地区別取引高

地区	件数	金額(千円)
東京	760	168,028
(主に木材*、菓子、豚、茶、みかん)		
大阪	352	107,219
(主に木材、木炭*、青果、家具*、牛、蛤*、薬)		
小倉	653	288,389
(主に青果*、麺類*、白玉粉*、木造船、製函*、蜂蜜		

* は特に多いもの

輸出貿易の推移

年次	金額
24年	約7億円
25〃	〃8〃
26〃	〃9〃
27〃	〃9〃
28〃	〃10〃
29〃	〃15〃
30〃	〃16〃
31〃	〃20〃
32〃	〃25〃
33〃	〃30

輸出貿易も急激な上昇を見せています

この場合でも同じく販路と品目にそれぞれ特徴が見られ、二十七、八年頃を境としてそれ以前は大企業製品が多く、米国への繊維、罐詰、竹みす、韓国向けのセメント、台湾への硫安肥料等が多かつたのですが、二十八年以降は割合に中小企業製品の沖縄向が増加し、その品目も味噌、木材、ベニヤ、たゝみ表、みかん等の進出が目立つています。

さらに三十三年度の輸出貿易額を品目金額、仕向地別に見ますと、次表のとおりで中小企業製品の近接地輸出が目立つています。

以上のように、県産品は内外に広く多種多様製品の進出が見られて、販路拡張のための一応の足場は確保しているのですが、今後の生産増強と育成指導と相まつてさらに販路拡張の必要にせまられています。今後、県産品の銘柄信用の確保向上、県産品の新市場開拓という二大目標に向つてあらゆる努力を心がける考えです。

(産業館)

33年度の取引高

業種	件数	金額(円)	品目
農産	267	202,682,101	南瓜、ピース、きろうり、甘藷、みかん、とうもし、切甘等
食品	346	4,592,084	麺類、朝鮮飴、白玉粉
畜産	66	25,130,050	豚、牛、卵、蜂みつ等
水産	35	47,098,468	蛤、干貝、海そう等
林産	945	273,177,144	木材、製函、竹材、木炭等
機械	14	3,372,070	減速機等
薬工品	2	99,977	なわ
日用雑貨	67	6,252,318	たゝみ表、茶、家具、ものさし、のりみす、ほうき、
即売	23	1,222,042	朝鮮飴、銅銭と等
計	1,765	563,626,256	

33年度輸出の内容

品種	金額(千円)	仕向地
繊維	796,946	綿糸、生糸(東南亜、欧洲、米国)
化学製品	1,290,835	硫安(中共、台湾、韓国、琉球) 硫燐安(台湾、韓国、東南亜) 珪弗化ソーダ(米国) 酢酸(中共) セメント(琉球、台湾、韓国、東南亜)
木材及び木製品	414,969	木材(琉球) 合板(琉球、英国)
竹材及び竹製品	20,994	竹材(韓国) 竹簾(米国) 釣竿(米国)
食品類	208,707	種かき(米国) みかん(琉球) 味噌(〃) 茶(〃、東南亜) 椎茸(香港) 罐詰(みかん)(英国) 〃(あさり)(米国、カナダ) 〃蛤(琉球) 醤油(ハワイ) 小豆(琉球) 酒(〃)
その他	192,621	真珠(米国) 紙製品(琉球) 彫刻刀など(西独) かそ(琉球) の他(〃)
総計	2,925,072	

* 写真は沖縄での見本市出品物の下見